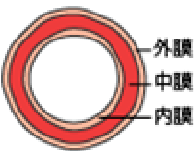

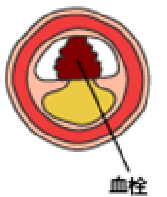
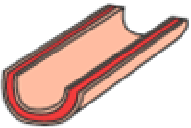
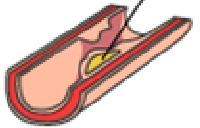
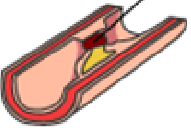


**動脈硬化**とは、血管にコレステロールなどがたまり、**狭窄**（血管が狭くなる）や**閉塞**（血管が詰まる）が起こる状態をいいます。動脈硬化は糖尿病や高血圧、**高脂血症**といったいわゆる生活習慣病があると、さらに起こりやすくなります。

動脈硬化が起こると、その血管の先の臓器に障害が起こります。例えば、心臓に栄養や酸素を送る血管である**冠動脈**に動脈硬化が起これば「**狭心症**」や「**心筋梗塞**」、脳に栄養や酸素を送る血管である**頸動脈**や**脳動脈**に動脈硬化が起これば「**脳梗塞**」、足先に栄養や酸素を送る血管に動脈硬化が起これば「**閉塞性動脈硬化症**」といった病気の原因となります。

	正常	動脈硬化	
		狭窄（血管が狭くなる）	閉塞（血管が詰まる）
血管の横断面			
血管の縦断面			
解説	血管は「内膜・中膜・外膜」の3層からできており、血液が流れ全身に栄養や酸素を送っています。	加齢や生活習慣病などを患うと内膜にコレステロールなどがたまり、血管が狭くなって、血液の流れが悪くなります。	動脈硬化がさらに進むと、狭くなった血管に <b>血栓</b> （血の塊）ができ、血管が完全に詰まってしまいます。